

# あ い あ い

2021年 9月

対象：0歳～6歳（未就園児）もしくは出産前のご家庭

—みなさんの子育てを応援しています—

日中は夏と変わらないような暑い日もありますが、日が落ちるのも早くなってきました。少しずつ、秋へと移り変わる季節を感じながら、健康第一で過ごしていきましょう！

新型コロナウイルス感染防止のため、本来ならば稲荷砂川保育園で毎日開催しています「あいいいひろば」はお休みをさせて頂いておりますが、困ったことがあればいつでもお電話にてご相談ください。

今月から砂川東公園にて「出前保育」を再開予定でしたが、緊急事態宣言延長に伴って中止とさせていただきます。詳細はカレンダーをご覧ください。



## 子育てワンポイント！ ～赤ちゃんにたくさん声をかけよう～



まだ言葉を発しない赤ちゃんとお過ごしていると、「お腹空いたかな？」「眠いかな？」「オムツ変えたほうがいい？」等、赤ちゃんの気持ちを大人が頭で考えてお世話をしていて、気が付くと「今日誰ともしゃべっていないな…」と感じる日があるかもしれません。

0歳の赤ちゃんは、心と身体が日々急速に成長しています。赤ちゃんは話すことは出来なくても、安心できる大人からの言葉を聞いて、言語を吸収し、コミュニケーション能力が育ちます。

では、どのように声を掛けたらよいでしょう。例えば、毎日のオムツ替えでは、「オムツ気持ち悪かったね。替えようか。」「綺麗になって気持ちいいね。」授乳では、「お腹空いたね。」「ゴクゴクゴク、おいしいね。」と、赤ちゃんが感じていそうな気持ちを代弁したり、状況を実況中継したりするように話しかけてみましょう。ぐずっていたら「なんで泣いているの？お腹空いたかな？さびしい？抱っこする？」等、大人が感じたままに声をかけてあげましょう。繰り返し顔を見て話しかけているうちに、赤ちゃんの方から求めていることに対して何となく反応を返してくれる日が来るかもしれません。

他にも、お散歩や遊んでいる時、「風が気持ちいいね。」「お花が綺麗だね。」「おもちゃから面白い音がするね。」等、形容詞を使って語りかけると感性が豊かになります。

もし、私たち大人が赤ちゃんの立場になったときを想像してみてください。何も声をかけられずにどこかへ連れていかれたり、突如後ろから抱き上げられたりすると、不安になりますね。もしも自分が赤ちゃんだったら、どんな風に声を掛けてもらい、関わってもらえると嬉しいか、安心できるか、少し思い浮かべながら接してみるのもいいかもしれません。赤ちゃんが心地よいと感じる声掛けや関わりが見つけられると素敵ですね。

最初は独り言のように感じてしまうかもしれませんが、いつか大きくなった我が子と会話をする日を想像しながら、声掛けを楽しんでみてください。また、喜怒哀楽をいろいろな表情や動作で表現してくれるこの時期ならではの可愛い姿を楽しみながら、顔を見合わせてたくさん声をかけ、スキンシップをして心の会話をたくさん楽しみましょう。

社会福祉法人稲荷保育園

## 稲荷砂川保育園

〒612-0008

京都市伏見区深草六反田町4-7

TEL 075-561-1096

FAX 075-561-8905



★あいいい通信は稲荷砂川保育園のホームページ

<https://inasunahoikuen.jp/>の「地域子育て支援」のページにも掲載されています。